

## 香川県帰化植物目録 (1)

香川県大手前高等学校 和気俊郎

本県において、帰化植物が意識的にとりあげられるようになってからもう20余年になる。この間、筆者は県産目録を整理し、また坂出埋立地、高松市、善通寺市等、地域的なまどめも行ってきた。一方、真木弥太郎は主として三豊郡、観音寺市産のものについて、再三改訂し、発表している。このほか、坂口清一、氏家由三、三谷進、新居正敏、馬場善春、藤原滝雄等によって新しい種類や産地が次々と発見され、特に坂口、三谷によるそれは、本邦新記録種も含めて実におびただしい数にのほっている。今後ともその記録は急激に増加するであろうし、今のうちに一応の整理をしておかねば手垢つけられなくなると考え、紙上を借りてまとめることにした。史前帰化植物は省略することにし、旧帰化植物の大部分も除いたが、その選択は主観にしたかった。今後の追加種、追加産地は適当な時期に補筆していきたい。なお、本稿作成にあたっては、殆んど香川植物の会で整理中の香川県植物誌を引用したことを付記しておく。

## I Fam. Compositae キク科

*Taraxacum officinale* Weber セイヨウタンポポ  
1955以前に既に高松市幸町で見られ、現在同市内に点々とひろびろびしている。他では丸亀市善通寺市でも発見され、僅かなら広がる傾向にあるが、県下では少い存在。最近では観音寺市内(1970.4.25真木)、詫間町松崎(1976.7.8和気)の記録がある。

*Hypochoeris radicata* L. フタナ  
高松市朝日町埋立地での記録(与代不明、立石清)が最も古く、その後観音寺市母神山(1966.7.3真木)、同栗井牧場(1966.7.14真木)、五色台黒峰(1969.4.11和気)と発見、1970代に入って琴南町内田(和気)、矮上町山田上(和気・藤原)、仲南町十郷後山(和気・藤原)、丸亀市土器町(和気)、綾歌町栗熊東(新居)、飯山町上法(新居)と次々記録されている。

*Sonchus oleraceus* L. ノケシ  
県下各地に多い。

*Sonchus asper* (L.) Hill オニノケシ  
県下各地で見えるが、ノケシほど多くない。

*Sonchus oleraceo-asper* Makino アイノケシ  
各地で見えるが、前2種より少い。

*Lactuca indica* L. var. *dracoglossia* (Makino) Kitamura リュウゼツサイ  
時に逸出するが、定着性強いとはいえない。

*Lapsana communis* L. ナタネタヒラコ  
1973.6.2坂出市栗港町(坂口)での記録がある。

*Carduus crispus* L. ヒシアサミ  
豊中町笠田(1967.5.27和気)、琴南町美合(1967.6.21和気)の記録がある。琴南町ではやや広がりつつあるが、県下では珍しい。

*Carduus crispus* L. form. *albus* Hara  
シロバナヒシアサミ  
県下の各地にあり、珍しくない。時に栽植されている。

*Silybum marianum* Gaert. オオアサミ  
1950丸亀市西本町で発見、その後丸亀市、善通寺市、坂出市、琴平町等で点々と見ているが、定着性弱く、1~3年で消滅してしまうのが普通のようなのである。恐らく逸出であろうが、最近では栽植が稀になった。

*Silybum marianum* Gaert. form.  
シロバナオオアサミ  
高松市紫雲山麓で見られている(坂口)。

*Carthamus tinctorius* L. ベニバナ  
坂出市入船町、昭和町(1968.6.2和気)、善通寺市金蔵寺町(1968.6.15和気)で記録。定着性は弱い。

*Chrysanthemum leucanthemum* L.  
フランスギク  
1968には、坂出市白峯で既に点々と野化が

- みられた。また、詫間町紫雲出山(1968.6.13真木)でも知られている。
- Achillea millefolium* L. セイヨウノコギリソウ  
仲南町樅ノ木峠(1968.11.22和氣)を皮切りに、琴南町大川山、観音寺市栗井町、小豆島フルーライン沿線、多度津町堀江、多度津山、羊礼町八栗山等で発見されている。砂防用植物に混入して種子が散布されるらしい。
- Anthemis cotula* L. カミツレモドキ  
1954頃からほつほつ見られるようになり、坂出市、善通寺市、観音寺市、丸亀市、満濃町等で発見されている。特に坂出市では多い。
- Anthemis tinctoria* L. コウヤカミツレ  
1970.5.20坂出市番ノ州(坂口)で記録されている。
- Anthemis nobilis* L. ローマカミツレ  
坂出市で栽培品が一部逸出。
- Matricaria inodora* L. イヌカミツレ  
1975.5.18高松市朝日町(氏家)で記録。
- Matricaria matricarioides* (Less.) Porter  
オロシャギク  
1973.6.2坂出市番ノ州(坂口)で記録。
- Cotula australis* (Sieber) Hook. f. マメカミツレ  
1973.3.23観音寺市柞田町(真木)で発見されて以来、坂出市栗港町(1973.6.2坂口)、坂出市富士見町(1974.12.4和氣)、大野原町菽原(1975.2.2和氣・藤原)と各地で記録されている。
- Artemisia annua* L. クソニンジン  
都会地に多い。
- Aster subulatus* Michx. ホウキギク  
1932~1933頃、小豆郡池田町(坂田勲)で発見されたのが最初で、現在は非常に多い。
- Aster* sp. ヒロハホウキギク  
1970.6.14善通寺市大麻町で気付いた(和氣)のが最初の記録であるが、当時既に広く県下に分布していた。今はますます広がり、ホウキギクが圧倒されつつある。
- Erigeron bonariensis* L. アレチノギク  
県下に広く分布。
- Erigeron sumatrensis* Retz. オオアレチノギク  
少くとも1946頃には既に各地で見られたが、以後急激に増加し、現在では最も多い雑草の一つになっている。
- Erigeron canadensis* L. ヒメムカシヨモキ  
県下に広く分布。最近特に多くなってきた。
- Erigeron pusillus* Nutt.  
ケナシヒメムカシヨモキ  
多くはない。ヒメムカシヨモキの貧栄養型とあやまりやすい。
- Erigeron annuus* (L.) Pers. ヒメジョオン  
県下に古くから帰化。各地に多い。
- Erigeron philadelphicus* L. ハルジオン  
1974.5.6高松市勅使町(和氣・新居)で記録されて後、高松市番町(1974.12.3和氣)で発見されているのみである。
- Bidens pilosa* L. var. *pilosa* コセンタンクサ  
1949頃に既に三豊郡では上高瀬、麻などで多かった。現在は各地に見られ、特に向陽の林道などに多い。
- Bidens pilosa* L. var. *minor* (Blume) Sherff  
シロノセンタンクサ  
コセンタンクサと混生しているが、やや少ない。特に綾歌町富熊、栗熊、善通寺市碑殿町、豊中町笠田、高瀬町上高瀬等では、コセンタンクサより多いところがある。
- Bidens biternata* (Lour.) Merr. et Sherff  
センタンクサ  
各地に見られる。
- Bidens bipinnata* L. コバノセンタンクサ  
1966.9.4観音寺市琴弾公園(真木)で発見されて以来、同市内各地(真木)、坂出市、満濃町、丸亀市、琴平町、高瀬町(以上和氣)と各地で記録されているが、少ない。
- Bidens frondosa* L. アメリカセンタンクサ  
1928~1929頃小豆島池田町で発見されたのが初見記録で、本土では高松市宮脇町での記録が最も古い。1937頃ではまだ一般的とまではいっていない(坂田勲)。現在では、最も普通のものの一つとなっている。
- Bidens aurea* (Ait.) Sherff キンバイタウコキ  
1955頃既に宇多津町、高松市鶴市町には存

- 在していた(和気)。現在では各地に点在し、珍しくはない。ウインターコスモス、カンサキコスモスの名でよく栽植されているが、帰化品の多くは雑草起原で、一部が栽培起原であろう。
- Solidago altissima* L. セイタカアワダチソウ  
1930代に既に善通寺市木徳町等では野化していた。現在は各地にみられ、宇多津町等ではかなり大きな群落を作っているが、本県の場合、京阪神のような大群落はみられない。最近、繁殖速度が急速に早くなってきた傾向がみられる。
- Solidago gigantea* Ait. var. *leucophylla* Fern.  
オオアワダチソウ  
県下では点々とみられ、志度町、高松市、坂出市、宇多津町、仲南町、財田町、豊浜町等で記録されている。逸出品であろう。
- Ageratum conyzoides* L. カッコウアサミ  
1974.10.20高瀬町上勝間(和気)で記録。
- Helianthus debilis* Nutt. ヒメヒマワリ  
宇多津町、丸亀市土番町で野化。逸出。
- Helianthus annuus* L. ヒマワリ  
各地に野化。殆んど栽培起原であるが、中には雑草起原とみていいものもあるようだ。坂出埋立地ではやや定着している。
- Helianthus decapetalus* L. コヒマワリ  
時に逸出品をみる。
- Helianthus tuberosus* L. キクイモ  
終戦後野化をみるようになり、現在では各地でみられる。
- Helianthus strumosus* L. イヌキクイモ  
今までキクイモと記録されていたものの中に、本種がかなり含まれている。(坂口)
- Rudbeckia hirta* L. アラケハンゴンソウ  
1975.7.5多度津町堀江(和気)で発見された。同地は埋立て、現在は僅かに残っているだけである。
- Rudbeckia laciniata* L. var. *hortensis* Bailey  
ハナガサギク  
時に逸出品をみかける。
- Coreopsis lanceolata* L. オオキンケイギク  
琴南町美合野口、高松市仏生山町等で逸出、野化している。琴南町では定着した。
- Coreopsis tinctoria* Nutt. ハルシャギク  
各地の塞地、川原等に逸出、定着している。
- Coreopsis tinctoria* Nutt. form. *abropurpurea* (Hook.) Fern. クロバナハルシャギク  
ハルシャギクと混生してやや少ないが、珍しいということはない。
- Galinsoga ciliata* (Raf.) Blake ハキタメキク  
1957.12三野町大見(和気)で記録されて後善通寺市櫛梨町、琴平町下櫛梨、丸亀市川西町、高瀬町勝間首山、豊中町比地大(以上和気)、高瀬町二宮(近藤恵美子)、高瀬町下麻、多度津町奥白方、三野町吉津、綾歌町富熊(以上和気)、高松市鬼無町(氏家)等、主として函嶺各地で発見されている。なおこの記録の中には *G. parviflora* Cav. コゴメギクが混っているかもわからない。
- Emilia sagittata* (Vahl) DC. ベニニガナ  
1952~1953頃、財田町財田上で、また1974.8.8多度津町東白方で発見、ともに逸出と思われる(和気)。
- Crassocephalum crepidioides* (Benth.) S. Moore  
ベニバナボロキク  
1952~1953頃琴南町美合竜王山でみて以来、今では県下の各地にある。もともと山地性であるが、平地にも稀でない。(和気)
- Erechtites hieracifolia* (L.) Raf.  
タンポポロギク  
終戦前に既に大滝山に侵入している(坂口)。山地性であるが、時に平地にも見られる。一般にベニバナボロギクよりやや少ないが、所によっては広い群落をみせる。
- Senecio vulgaris* L. ノボロギク  
各地に点在するが、稀ではない。都会地に多い傾向がある。
- Taraxacum officinale* L. シオサキソウ  
1969.9.15高松市飯田町(和気)で記録。現在もあるが、余りひろまっていない。
- Cosmos bipinnatus* Cav. コスモス  
栽植品が逸出して、各地でみられる。定着しているところも少ない。

*Cosmos sulphureus* Cav. キバナコスモス  
時に逸出、野化している。

*Gnaphalium purpureum* L. var. *spathulatum*  
(Lam.) Baker 今今コスサモドキ  
各地に普通。終戦後特に多くなる。

*Gnaphalium calviceps* Fern.  
ホソバノ今今コスサモドキ  
1968.5.18 観音寺市栄町、1970.6.29 観音寺市  
粟井町奥谷、大野原町井関(いずれも真木  
)で記録されている。

*Gnaphalium sylvaticum* L. 夕今今今コスサ  
各地に普通。本種は *G. purpureum* L. の学  
名での記載もあり、再検討を必要とする。

*Ambrosia artemisiifolia* L. var. *elation*  
(L.) Desc. フタフタサ  
1960.7.17 志度町鴨部で発見、その後、津田  
町、高松市、坂出市、丸亀市、多度津町、  
三野町、豊中町、観音寺市、豊浜町、土庄  
町、飯山町、国分寺町、宇多津町、満濃町、  
琴平町、(以上和気)、綾歌町と各地で発見  
されている。特に坂出市には多い。

*Ambrosia trifida* L. オオフタフタサ  
1964.8.6 観音寺市高屋町(真木)で発見さ  
れて以来、丸亀市川西町(1966.8和気)、観  
音寺市東岡(1967.9.3真木)、山本町河内橋  
(1967.8.23真木)、丸亀市飯野町(1970.8.8  
和気)、大野原町八兵衛(1970.真木)、坂  
出市入船町(1974.7.14三谷)、内海町吉田  
(1975.8.14和気・藤原)と点々と記録され  
ているが、本県ではまだ少ない。

*Xanthium canadense* Mill. オオオナモミ  
今までオナモミと混同していた中に、かな  
りの本種がまじっている。

*Xanthium italicum* Moretti イガオナモミ  
1967.9.24 観音寺市有明浜(和気)で発見さ  
れて以来、仁尾町天王海岸(真木)、坂出  
市昭和町、善通寺市中材町、満濃町四条、  
高松市松島町(以上和気)、池田町藪生、  
神ノ浦、土庄町伊喜末(以上藤原・和気)、  
丸亀市田村町、北平山町(以上和気)、坂  
出市入船町(三谷)、豊浜町和田浜、詫間  
町大浜船越(以上和気)等と、主として海

岸地方で稀見され、個体数も激増しつつあ  
るようだ。

2Fam. Campanulaceae キキョウ科  
*Lobelia erinus* L. ロベリア  
終戦後、香川大学構内に一時帰化したこと  
があった。

*Specularia perfoliata* (L.) A. DC. キキョウソウ  
1942には香川大学付近には既に多かった。  
以後、丸亀市、綾歌郡、三豊郡等でも記録  
されているが、あくまで高松市が中心であ  
る。

*Specularia biflora* (R. et P.) Fisch. et Mey.  
ヒナキキョウソウ  
1967高松市紫雲山(坂口)、観音寺市、豊  
中町、三野町、詫間町(以上真木)で記録  
されて以後、丸亀市土器町、財田町財田上、  
坂出市林田町、府中町、加茂町(以上和気  
)、飯山町、高松市下笠居(以上新居)と  
続々発見され、現在では殆んど普通となっ  
てしまった。

3Fam. Cucurbitaceae ウリ科  
*Cucumis melo* L. ホンテンウリ  
1968 藤下典之(大坂府立大)が高松市女木  
島、男木島で発見、後、1975 笠原安夫(岡  
山大)が坂出市樞石島等で発見している。  
他に小豆島、坂出市与島、瀬居島、丸亀市  
本島、多度津町高見島でも知られている。

*Momordica charantia* L. ツルレイシ  
時に逸出するが、定着性は認められない。

*Sicyos angulatus* L. アシケウリ  
1969.6.26 飯山町東坂元で発見、以後、宇多  
津町、坂出市川津町、丸亀市川西町南、山  
本町河内橋、善通寺市善通寺町、稲木町、  
上吉田町、弘田町、多度津町山階、高瀬町  
上高瀬(以上和気)、山本町西野材(真木  
)で発見、なおひろがりつつある。

*Sechium edule* Sw. ハヤトウリ  
1960頃飯山町東小川で野化、現在は多い。